

平成 28 年 3 月 30 日

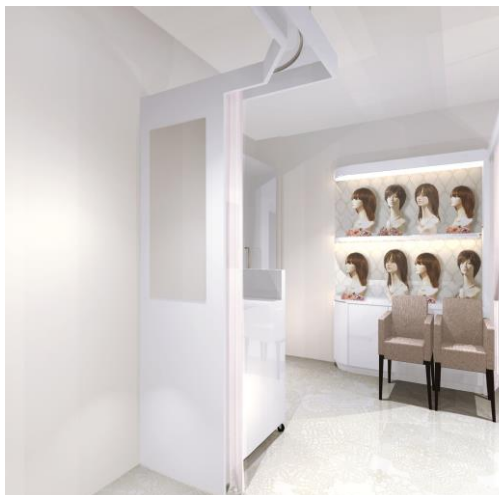
&lt;報道関係各位&gt;

株式会社 **アデランス****当社初の国立大学内ヘアサロン****大分大学内に病院内ヘアサロンを出店****患者さまの QOL を向上させるアピアランス(外見)ケアをワンストップで提供  
バリアフリー化や病室への出張カットなど、患者さま視点の店舗**

株式会社アデランス（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長 根本 信男）は、当社 26 店舗目となる病院内ヘアサロン「ヘアサロン こもれび」を 2016 年 4 月 1 日（金）、大分大学医学部附属病院（大分県由布市）に出店します。当社として、国立大学内への出店は初めてです。

病院内で療養中の患者さまには、抗がん剤や放射線治療等の副作用による脱毛や爪の変色など外見の変化に悩まれる方が多くいらっしゃいます。当社が展開する病院内ヘアサロンは、患者さまの QOL（Quality of Life）向上を目的に病院内に常設している理美容室です。シャンプー、ヘアカット、カラーリングといった一般的な理美容サービスの提供だけでなく、脱毛に関するご相談、医療用ウィッグの取扱いやアフターサービスの実施、メイク・ネイルの施術など、患者さまの生活を支援するアピアランス（外見）ケアをワンストップで提供します。

今回、大分大学医学部附属病院にオープンする店舗は、清潔感あふれる開放的な空間にプライベートに配慮した施術スペース 2 席を設けています。エントランスには、手に取って試着していただけるよう、様々なヘアスタイルのウィッグをディスプレイしています。また、店内はバリアフリーを実現し、点滴スタンドや車椅子での来店が可能です。病室までお伺いする出張カットにも対応するため、ご自身での来店が困難な患者さまでもサービスをお受けいただけます。



病院内ヘアサロン「ヘアサロン こもれび」（イメージ）

当社では、病院内ヘアサロンの運営をはじめ、医療用ウィッグ「ラフラ」の発売、接客スタッフの医療接遇講習受講の義務化、病気やケガなどの理由で脱毛に悩むお子さまにオーダーメイド・ウィッグを提供する「愛のチャリティ」など、髪を通じて心の健康をサポートする医療事業活動に積極的に取り組んでいます。大分大学とは、2013年11月に、抗がん剤治療の副作用である脱毛の予防に関して共同研究の契約を締結し、産学連携のプロジェクトを進めています。

## ■病院内ヘアサロン『ヘアサロン こもれび 大分大学医学部附属病院店』店舗概要

住 所：大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地  
大分大学医学部附属病院内1F

ア ク セ ス：大分バス「大学病院」下車

電 話 番 号：097-540-7330

営 業 時 間：9:00～17:00

定 休 日：土曜、日曜

オ ー プ ン：2016年4月1日（金）

取 扱 商 品：医療用ウィッグ、医療用帽子、まつ毛・眉毛用美容液、スカルプ&ヘアケア関連商品・機器など

取扱サービス：美容サービス（ヘアカット、ヘアカラー、シャンプーなど）、アフターサービス（ウィッグの手入れなど）、メイク・ネイルの施術サービス、出張カットサービス

※サービスは、患者さまの付き添いやお見舞いの方、院内職員の方もご利用いただけます。

## ■大分大学とアデランスの共同研究について

国立大学法人大分大学（大分県大分市、学長 北野正剛）と株式会社アデランスは、抗がん剤治療の副作用である脱毛の予防に関して、2013年11月18日（月）に共同研究の契約を締結し、産学連携のプロジェクトをスタートいたしました。抗がん剤の副作用による脱毛に関して悩まれる患者さまが多い中、大分大学医学部は、世界で初めて「新規αリポ酸誘導体」の抗がん剤脱毛の抑制効果をラットを用いた基礎研究にて報告し、その製剤化が期待されています。共同研究では、乳癌患者を対象とした臨床研究を行うなど、抗がん剤脱毛予防剤の開発に向け、日々研究を進めています。